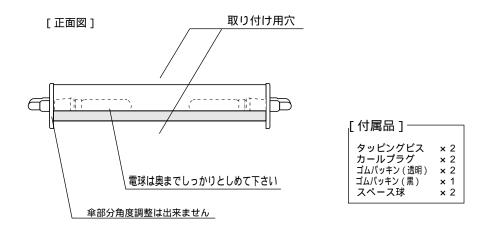
スタンドライト - L [取扱説明書]



[照明の取付方法]

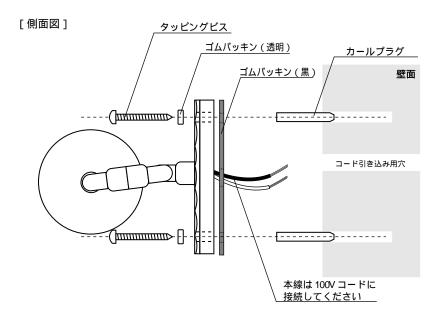
電球は20Wまでしか使用できません。 配線は、電気工事店様により接続をお願いいたします。

(2 0 Wより上の電球を使用しますと火災の原因になります。) 口金 E 1 7

コンクリートの場合 ----

下穴 6mmをあけてカールプラグを差込み タッピングネジをしめてください ┌ 木質系の場合

タッピングネジでそのまましめてください



スタンドライト -L 施工要項書

スタンドライトをお買い上げありがとうございます。未永くご使用いただくためにもご確認いただきますようお願いいたします。

取り付けについて

電線の導入口や壁面などの貫通部はコーキング材などで防水処理を施工してください。

(電線を伝わっての水の侵入の原因になります。)

安全確保のため、電源ブレーカー及びスイッチは遮断を確認してから施工してください。 (感電の原因になります。)

接続不完全や容量オーバーの場合、火災の原因となります。 【適合電力(W) 最大20Wスペース球】

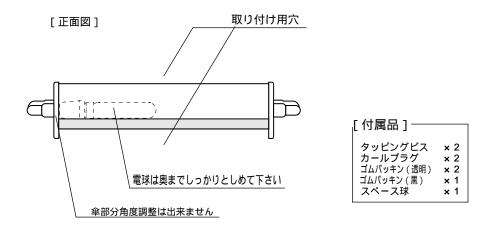
配線は、電気工事店様により接続を願いいたします。

お手入れについて

ランプの交換は、必ず電源を切ってください。感電の原因 になります。

点灯中、消灯直後に器具に触れないで下さい。消灯後20分程経過後にランプ交換等をしてください。 (やけどの原因になります。)

スタンドライト -M [取扱説明書]



[照明の取付方法]

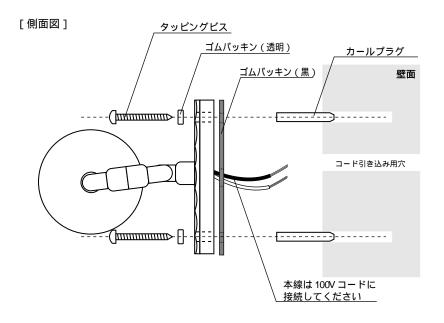
電球は20Wまでしか使用できません。 配線は、電気工事店様により接続をお願いいたします。

(2 0 Wより上の電球を使用しますと火災の原因になります。) 口金 E 1 7

コンクリートの場合 ―――

下穴 6mmをあけてカールプラグを差込み タッピングネジをしめてください ┌ 木質系の場合

タッピングネジでそのまましめてください



スタンドライト -M 施工要項書

スタンドライトをお買い上げありがとうございます。未永くご使用いただくためにもご確認いただきますようお願いいたします。

取り付けについて

電線の導入口や壁面などの貫通部はコーキング材などで防水処理を施工してください。

(電線を伝わっての水の侵入の原因になります。)

安全確保のため、電源ブレーカー及びスイッチは遮断を確認してから施工してください。 (感電の原因になります。)

接続不完全や容量オーバーの場合、火災の原因となります。 【適合電力(W) 最大20Wスペース球】

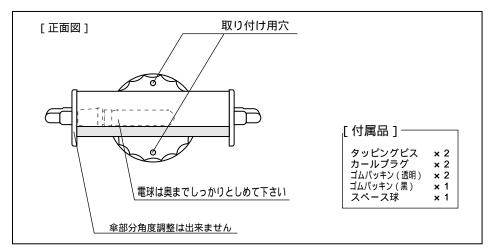
配線は、電気工事店様により接続を願いいたします。

お手入れについて

ランプの交換は、必ず電源を切ってください。感電の原因 になります。

点灯中、消灯直後に器具に触れないで下さい。消灯後20分程経過後にランプ交換等をしてください。 (やけどの原因になります。)

スタンドライト -S [取扱説明書]



「照明の取付方法]

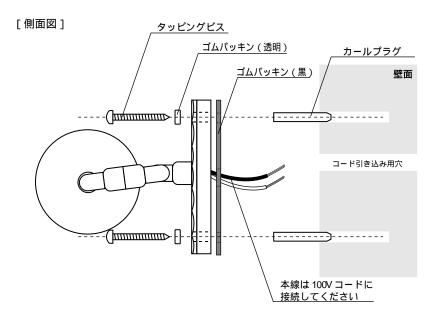
電球は20Wまでしか使用できません。 配線は、電気工事店様により接続をお願いいたします。

(2 0 Wより上の電球を使用しますと火災の原因になります。) 口金 E 1 7

コンクリートの場合 ―――

下穴 6mmをあけてカールプラグを差込み タッピングネジをしめてください ┌木質系の場合 ⋅

タッピングネジでそのまましめてください



スタンドライト -S 施工要項書

スタンドライトをお買い上げありがとうございます。未永くご使用いただくためにもご確認いただきますようお願いいたします。

取り付けについて

電線の導入口や壁面などの貫通部はコーキング材などで防水処理を施工してください。

(電線を伝わっての水の侵入の原因になります。)

安全確保のため、電源ブレーカー及びスイッチは遮断を確認してから施工してください。 (感電の原因になります。)

接続不完全や容量オーバーの場合、火災の原因となります。 【適合電力(W) 最大20Wスペース球】

配線は、電気工事店様により接続を願いいたします。

お手入れについて

ランプの交換は、必ず電源を切ってください。感電の原因 になります。

点灯中、消灯直後に器具に触れないで下さい。消灯後20分程経過後にランプ交換等をしてください。 (やけどの原因になります。)

銅製品メンテナンス及び注意点

銅イブシ品の注意点

弊社の銅製品は、風合いを出すために必ずイブシ処理(変色)を しております。

イブシは塗装と違いまして薬品によって変色させておりますので 表面にしか付きません。

<u>テープやシールなどを品物の表面に貼って剥がすとイブシも一緒</u> <u>に剥がれてしまいます</u>ので十分注意して下さい。

ですので、不用意にテープやシールを品物に貼らないで下さい。

銅の変色・メンテナンスについて

変色は酸化被膜をつくり表面を長持ちさせる過程です。 変色の段階は、赤茶色(淡目)→こげ茶色(濃目)→何十年か経 ちますと緑青へと変色します。

お買い求め頂きましてから $1\sim2$ 年間は均一に変色せずにムラになることがあります。

それは、変色を防ぐ為クリアーラッカーを塗って出荷しておりまして、クリアーが劣化した部分から変色しますのでムラになったりします。

そのままで何年間たちますと全体が均一になりますが気になる様でしたら、スチールウールや台所用スポンジの緑色の部分で変色した部分を軽くこすり全体にならして頂きますと、ムラは無くなります。

尚、強くこすりますと地の色が出てしまいますので必ず軽く円を 描く様にして下さい